

Colorado Mesa University



留学を決めた理由

私が今回交換留学に挑戦しようと決断した理由は2つあります。1つ目は新たな強みを身に着けたいということです。私は大学四年間を社会に出て活躍するための準備期間であると考えています。また、将来は海外に駐在員として派遣され世界を相手にビジネスを切り拓いていくというビジョンを掲げています。その目標を達成するために今何をやるべきか逆算した結果、英語力向上、異文化理解力や適応力を身に着けることができる留学が選択肢に残り、挑戦する事に決めました。2つ目は自己成長の追求です。私はこれまで困難な状況やあえて厳しい道を選択し打破することで成長を感じてきました。留学は異国の地での長期滞在や英語での学習、異なる価値観を持つ人との協働などで数多くの困難が待ち構えている中でも必ず成長を感じられる部分があると考え、レベルの高い交換留学に挑みました。

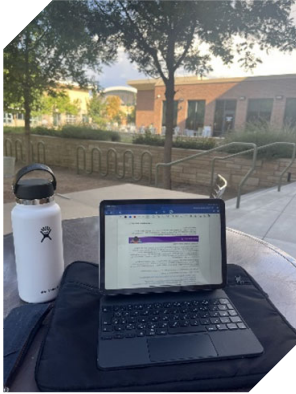


学習面

私は留学先ではスポーツマネジメント、マーケティング、心理学、ビジネスインフォメーションの4つの授業を専攻しました。交換留学生は自身の学科に関係なく幅広い科目を履修することができ、私の専攻のスポーツマネジメント以外に3つの授業を履修しました。中でも心理学とマーケティングの授業に苦労しました。授業全体を通して自身の英語力の低さから用語、定義の理解やクラスメイトとのディスカッション、パワーポイントでの発表やレポートにとっても苦しみました。スポーツ科学部に所属しており、英語で学ぶことや英語でエッセイを書くことを経験しなかったため、全てのハードルが高く多くの悩みや不安を抱えていました。その中でも中京大学の代表として派遣されているからには最後ま



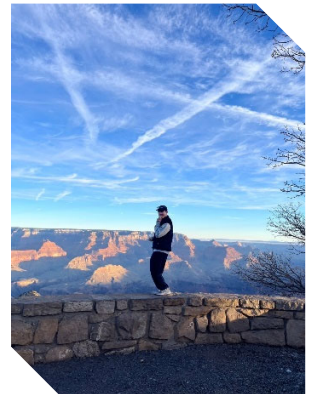
でやり切り全部の単位を取得すると常に自身に言い聞かせ精進してきました。授業の前後に教授のもとへ理解できなかったところを聞きに行く、友人に課題のサ



ポートをしてもらうなど無知であることを恥じず多くの方に協力してもらった結果、すべて単位を取り切ることができました。どの授業もゲストスピーカーを招き、実際の現場の声を聴く、各産業で働く方との繋がりを創ることを大切にされており、日本での授業との違いを感じました。全体を通して苦労したことが多くありましたが多くの助けのもと、楽しく受講することができました。

生活面

CMUでの生活は落ち着きのある充実した生活を送ることができました。一番心配にしていた寮生活では、私の希望通り一人部屋を用意してくださりプライベートを確保できリラックスして生活を送ることができました。寮内のセキュリティ管理も充実しており心配になることは全くありませんでした。寮での過ごし方、ルールなどは学期の始まりのプレゼンテーションでしっかりと教わったことで誰もがルールを守り快適な寮だったと感じました。また食事に関しては、カフェテリアはじめ多くの店が大学内にあるため困ることはありませんでした。ただ、ジャンクフードが主流なため、胃もたれをすることが多くありました。しかし味もメニューも不満に思うことがなかったので満足しています。



友人関係も何も問題なく、多くの友達ができ楽しく過ごすことができました。基本的に平日は授業の予習、復習、課題に多くの時間を費やしていたため週末に友人と遠出することが多かったです。コロラド州は自然がとても豊かなのでハイキングやキャンプ、スノーボードを楽しみました。また州都のデンバーには MLB の



チームがありそこで大谷翔平選手、鈴木誠也選手を見ることができ、野球好きな私には夢のような時間でした。それ以外にもラスベガスやグランドキャニオンにも行き、学業を頑張りつつも自身の趣味ややりたいことを満遍なくできた留学になりました。

まとめ

英語力に不安を抱えたまま挑戦した交換留学では多くの困難に直面し、最後までやり切れるのか自信がありませんでした。その中でも多くの方のサポートがあり大成功に終わった留学だったと思います。交換留学申請前は自身の英語力が通用するわけないと挑戦を躊躇していましたが、終えてみると留学に挑戦してよかったなと強く思いました。また将来の夢に向け新たな力も習得できたと思います。この経験で満足せず残りの大学生活も充実させていきたいと思っています。